



YAMAZEN

令和5年3月10日

各位

会社名 株式会社やまぜんホームズ
代表者名 代表取締役社長兼最高経営責任者 前野 一馬
(コード番号 1440 TOKYO PRO Market)
問合せ先 取締役常務執行役員 澤田 博明
TEL 0594-48-5224 (代表)
URL <http://www.yamazen-homes.com/>

令和5年7月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

令和4年9月9日に公表した令和5年7月期(令和4年8月1日～令和5年7月31日)における通期連結業績予想数値を下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

1. 令和5年7月期通期連結業績予想の修正(令和4年8月1日～令和5年7月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 6,560	百万円 110	百万円 95	百万円 85	円 銭 52.91
今回発表予想(B)	4,880	51	34	22	14.04
増減額(B-A)	△1,680	△59	△61	△63	△38.87
増減率(%)	△25.6	△53.6	△64.2	△74.1	

2. 修正が生じた理由

(1) 売上高及び売上総利益

売上高は、住宅事業においてウッドショック対策として1棟あたりの利益を確保する販売戦略に変更を行った結果住宅不動産事業の売上高が当初予想を1,490百万円下回ったことと、飲食事業においてはコロナウィルス感染症の影響が長引いたことから売上高が当初予想を27百万円下回り、介護事業においては介護事業子会社株式売却で当初予想を163百万円下回ることにより、当初予想6,580百万円から4,880百万円となりました。売上総利益については当初予想1,819百万円から1,518百万円となりました。

(2) 営業利益及び経常利益

販売費および一般管理費については、経営の合理化などの施策により経費および人員を削減し、当初予想1,708百万円から1,467百万円と減少しましたが、上記(1)の通り売上高減少に伴う売上総利益の減少が響き、営業利益は当初予想を59百万円下回り51百万円となりました。経常利益は営業利益の減少が響き、当初予想を61百万円下回り34百万円となりました。

(3) 親会社株主に帰属する当期純利益

別途本日付で開示しております「令和5年7月期特別利益および特別損失の計上に関するお知らせ」のとおり特別利益および特別損失を計上したため、特別利益を約56百万円、特別損失を約79百万円計上し、親会社株主に帰属する当期純利益は当初予想を63百万円下回り22百万円となりました。

以上